

令和 8 年度第 1 回北栄町中小企業・小規模企業振興基本計画検討委員会

議事録

日時: 令和 8 年 8 月 25 日(火) 午前 10 時 00 分～11 時 00 分

場所: 大栄農村環境改善センター 2 階 会議室 4

出席者:

岡本圭司(委員長、北栄町副町長)

伊藤孝一(副委員長、北栄町商工会副会長)

森本典子(北栄町商工会女性部常任委員)

小椋秀一(北栄町商工会事務長)

田中秀男(中部商工会産業支援センター所長)

金平英樹(鳥取銀行倉吉中央支店次長)

前田幸広(中小企業診断士協会会員)

事務局: 清水直樹(産業振興課長)、松本茜(産業振興課農商工推進室主幹)

1. 開会

事務局(清水産業振興課長)より開会が宣言された。

2. 自己紹介

久しぶりの開催となるため、新任者も含め各委員および事務局より自己紹介が行われた。

3. 挨拶

岡本委員長より挨拶。

● 今朝開催された「北栄砂丘まつり」の盛況や、住みたい街ランキング(单身若者部門全国第 3 位)を背景に、若い人が集まる街づくりの重要性を述べた。

● 「道の駅ほうじょう」オープン(年間入り込み約 80 万人見込み)や既存施設のリニューアル等により、町全体で年間 140 万～150 万人規模の観光客入り込みが見込まれる等の内部環境変化に言及。

● 人口減少下において、外部人材の力も借りながら商工振興を進め、国・県の補助金・交付金獲得の投資呼び込みにも耐えうる計画を作成していきたいと強調した。

4. 協議事項

(1) 基本計画の見直しについて

事務局より、基本計画の見直し方法およびスケジュールについて説明が行われた。

● 3 年ごとの全体見直しにあたり、社会情勢の変化との整合性を図るため時点修正を行う。

● 計画期間は、最上位計画である「まちづくりビジョン」に合わせて令和 13 年 3 月(令和 12 年度末)まで延長する(令和 8 年 3 月委員会にて承認済み)。

● まちづくりビジョンへの反映期限に間に合わせるため、今回の会議で重要業績評価指標(KPI)の見直しを先行して行う。

● 基本計画本文の見直し(地域の人事部事業や空き家調査・活用の反映など)は 11 月以降に進める。

(2) 重要業績評価指標(KPI)の修正について(資料 1)

事務局より、産業振興課所管の KPI 修正案について説明が行われた。

● 町内企業の経営革新に関する計画認定件数: 先端設備導入計画の賃上げ必須化等により申請のハードルがあがっているため、国へ申請する「経営力向上計画」認定数も合算対象とし、7 年間で 14 件に再設定。

● 地域の人事部事業による関係人口の増加者数(R8 新設): 首都圏・関西圏等でのイベント参加人数等をカ

ウントし、7年間で450人を目標設定。

- 由良駅周辺における宿泊施設の開業(R8新設): 宿泊施設誘致活動や今後のさらなる賑わい創出を見込み、計画期間中に2件の開業を目標設定。
- 由良宿地域への新規出店件数※特定居住促進計画区域内への出店(R8新設): 町内企業・創業者数から分離し、由良宿地域への新規出店19件を目標化。
- 民泊事業者の増加: 開業実績を踏まえ、特定居住促進計画の未達成分を考慮して7年間で6件の新規開業を目標設定。
- ほくほくカード加盟店数(R8新設): 町内循環の取り組みとして、高齢化等による廃業を見込み加盟店数の維持を目標として新設。
- 北栄町商工会加入者数: 高齢化等による廃業を見込み加入者数の維持を目標とした。
- 職業能力向上研修者(町内受講者)の正規雇用者数: 県事業で町の関与・追跡が難しいためKPIから削除(取組自体は継続)。
- 企業立地促進奨励金利用雇用者数: 近年の設備投資が省力化・人手不足解消目的中心であることを考慮し、過去実績を基に7年間で10人に変更。
- 事業承継件数: 第三者承継に時間を要する実態を踏まえ、年間3件(7年間で21件)へ下方調整。
- 町内企業・創業者数: 由良宿地域への出店を分離し、目標値を再設定。
- 空き家調査結果の活用(R8新設): 現在調査中のため、現時点での想定による目標値を設定。
- 町内農業者及び商工業者による新たな商品開発件数: 「6次産業化」の限定を解除し、町内農家・商工業者全体による開発に対象を拡大、7年間で120件を設定。
- 融資利子補助件数(R8新設): 事業継続・資金繰り支援の実績を把握する指標として新設、7年間で210件を目標設定。

【質疑要旨】

- 民泊の稼働状況: 常に満室ではないものの一定の稼働率があり、特定施設が満室の際も事業者間ネットワークで相互案内ができています。飲食等の周辺インフラが伴えばさらに需要の伸びが見込まれる。
- 民泊への支援とハレーション対策: 摩擦防止のため誘導的に進める必要性を指摘。町独自の民泊マップはないが、観光協会HP等で情報掲載を行っている。
- 宿泊キャパシティと受入体制: 町を選んでもらうためのキャパ増加が必要。個人事業主の運営(予約・清掃等)をバックアップできる体制ができればさらに伸びる。また、インバウンド需要に向けて由良宿の古民家や町並みなど眠っている資源を活かすべきとの意見があり、今年度実施中の空き家調査を踏まえて活用を進めると回答された。
- 融資利子補助件数の目標化: 資金繰り支援は重要だが、件数をKPIの目標に掲げることにやや違和感があるとの指摘に対し、他市町の採用事例も含め適切性を改めて検討すると回答された。
- 地場産業への若者の意識付け: 地元の中高生・若者がまちづくり等に関われる機会創出について提案があり、本年度より本格始動した「地域の人事部」事業において学校連携やアプローチの検討を進めていると回答。11月の本文改定に向けて進捗を見ながら記載等を検討することとなった。
- ビジョンの見直し周期: まちづくりビジョンは10年計画だが5年目に中間改定を行っており、本計画もその時期を合わせていることが共有された。

5. その他

(1) 今後のスケジュールについて(レジュメ)

事務局より今後の改定スケジュールについて説明。

- 令和8年11月以降: 第2回検討委員会を開催(本日意見を反映したKPI再修正案、計画本文修正案、ビジョン改定反映案等の審議)。
- パブリックコメントの実施、完成版確認を経て、令和9年3月末までに改定基本計画を最終確定する。

- 令和 9 年 3 月頃に令和 8 年度進捗状況確認の会議を開催予定。
- 状況により必要に応じて書面開催(書面決議)を加える可能性がある旨が共有された。

(2) その他

特になし。

6. 閉会

岡本委員長より閉会の挨拶が行われ、無事会議を終了した。